

(公財)トラストみどり財団主催 平成28年度第3回ブラッシュアップ研修

「間伐作業(選木・伐採・整理)」

日時: 平成28年11月5日(土)8:50~9:10 天気: 晴れ

場所: 湯河原町鍛冶屋 湯河原町林日本触媒万葉の森



< 水野 安則 14期 >

ブラッシュアップ研修「間伐作業(選木・伐採・整理)」に参加しました。ほぼ予定通り9時に湯河原駅を出発。雲ひとつない快晴の中、県道75号湯河原箱根仙石原線(椿ライン)をドライブし、「しとどの窟」から白銀林道に入り、研修場所の「日本触媒万葉の森」に予定より少し早い9時30分に到着しました。

研修スケジュール

8:45~9:00 受付 JR湯河原駅前 9:10~10:00 借上げバスで移動

10:00~10:20 オリエンテーション10:20~14:30 講義・実技(昼食含む)

14:30~15:00 研修講評 15:10~16:00 借上げバスにて移動、解散



集合場所は、
肥後實平公夫妻が待つ湯河原駅前

スタッフ並びに講師の(有)巻上造林メンバーの紹介並びに挨拶の後、3班に分かれ、急勾配の坂を約15分登り、研修場所のヒノキ林に到着しました。

始めに(有)巻上造林社長より選木についての説明を全員で受講しました。昭和50年頃に枝打ちした木は、ヨキ(手斧)で鋭く枝の根元をえぐるように切る指導があったため、切り口周辺の樹皮が浮きやすくまた、幹に傷がつくことがあり、「シミ」、「クサレ」が多く発生しているとの事。

社長が選木した木を注意深く観察すると、過去に枝打ちした下側が凹んで、脂が出ているのが確認されました。このような木は、生育が劣る木や、曲がり、二又になった木と同様に間伐の対象となります。

しかし、曲がり、二又の木でも、4.1m以上真っ直ぐな部分があれば商品価値は有り、根曲がり(根元から1mぐらい)の木でも、昔は、ミカン・リンゴ箱として利用し、捨てる部分は少なかったとの事。また、枯れ枝をつけたままや、切った木を放置しておく、標高800m以下の場所では、アカネトラカミキリ等の住みかになりやすく、虫害を受けた材木は、商品価値を下げるので、整理整頓が重要であるとの事。その後、伐倒のデモンストレーションをして、各班に分かれ間伐の研修を行いました。



巻上社長より
選木の説明を受ける研修生



伐倒のデモンストレーションを
熱心に見入る研修生

- ①選木:既にマーキングされていましたが、樹勢が劣る劣勢木を選定。
- ②伐倒方向: 木の重心方向、隣り合う木の梢の間隔を観察し、倒す方向を決める。
- ③退避場所の確認と足元の整理整頓。
- ④ロープ掛け:効果を上げるため、伐倒木の高い位置に取り付ける。
- ⑤受け口:基本通り、水平切りは、直径の1/3~1/4、斜め切りは、30~45度を目標で試みるが……
- ⑥追口:基本通り、受け口の2/3の高さで、ツルは、1/10を残す目標で試みるが……
- ⑦木を倒す:木が密集していたため枝掛かりが発生し、ロープを使い倒しました。
- ⑧伐倒後の確認:伐根を観察(受口の方向、深さ、形状、追口の高さ、水平度、ツルの幅)、反省会を実施
- ⑧枝払い、玉切り、整理:玉切りした材の設置に立木を利用すると立木が「シミ」になる原因となるとの事。

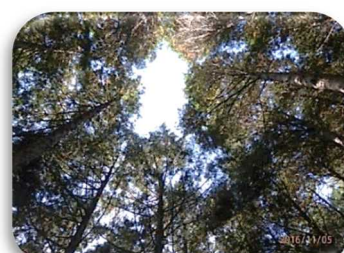
研修は、伐倒の本数を重ねるごとにスムーズに進み、各班 4本前後の伐倒をしました。



受口の出来栄を確認し合う研修生



伐根の受口、追口、ツルの状態を確認し、次回へ反映



伐倒後に見上げると、眩しい青空が見えました

最後に、講師の方よりお褒めと激励の言葉を頂き、全員無事怪我もなく研修は、終了しました。

巻上社長の「人へ教える立場のインストラクターの皆さんは、森づくりは、地拵え→植樹→下刈り→枝打ち→伐採のサイクルで成り立っていることを理解し、安全(声を出して指先呼称)に心がけ、これからも森を守って下さい」の言葉が心に沁みました。

また、枝打ち部分、滑車をスリングに取り付ける方法等、プロの技との違いを知り、これからの活動で、より説得力がある説明を参加者にできるような気がしました。

講師：(有)巻上造林 巻上社長、中山氏、樋田氏 スタッフ財団：豊丸課長、内田様、 研修生： 31名
 1班：巻上社長 友谷①、大道⑥、有坂⑧、飯澤⑨、大澤⑩、徳岡⑪、松本⑪、下山⑫、北村⑬、武井⑬、水野⑭
 2班：中山氏 山崎⑦、三浦⑧、辻村⑨、後藤⑩、真貝⑪、東⑫、安井⑫、斉藤⑬、宇田川⑬、鈴木⑭
 3班：樋田氏 佐藤⑤、千葉⑦、水津⑨、宮下⑩、松永⑪、石川⑫、江上⑬、古舘⑬、岩田⑭、谷⑭



“第3回やどりき周辺と近隣の山歩き” 【栗の木洞ダイレクトコース】

平成28年11月23日(水・祝) 曇り(尚、翌日11/24は雪でした) 参加者:10名 (写真撮影&キャプション:飯澤⑨)

今回は管理棟から後沢出合に行き新定着活動で使用している作業道を三段橋の上部まで登り、そこから昨年度新たに出来た作業道を登って、ボランティア林Aの作業道に合流して1000m地点の登山道に出る。そこから登山道を後沢乗越経由栗の木洞まで辿り再び作業道を一気に下って管理棟に出ました。

●コース：管理棟→後沢出合→後沢三段橋上部→後沢分岐→1000m 地点→
 後沢乗越(800m)→栗ノ木洞頂上(908.3m)→キリンパートナー林作業道→管理棟

林道コースの紅葉を眺め



三段橋を渡り



急坂を登って



鹿柵を潜り抜けて



●参加者：
 滝澤⑤(リーダー)
 武者⑦、辻村⑤、
 福島⑤、橋本⑩、
 大橋⑩、石川⑫、
 門澤⑫、谷⑭、
 吉岡⑭、飯澤⑨



山頂で全員で記念撮影

ゴールも近い



登山道に出たらこの賑わい

